



従業員環境教育・啓発

富士通グループのすべての従業員が、環境活動の“ 主役 ”です。

従業員一人ひとりの環境保全の意識向上と実行促進のためには、継続かつ繰り返しによる教育が必要です。そこで、富士通グループでは、すべての従業員を対象としたさまざまな環境教育・啓発を実施しています。

環境教育活動

営業部門

2001年5月、公共分野において環境に配慮したグリーン購入の動きが活発化していることを踏まえ、営業担当者を対象とした環境教育を実施しました。32名の参加者があり、活発な質疑応答がありました。



公共営業部門教育(富士通本社)

Webを活用した教育

富士通川崎地区や富士通三重工場において、イントラネットを活用し、自分のデスクにしながら教育を受講できるシステムを運用しています。2002年度には、富士通グループに展開していく予定です。



富士通川崎地区のシステム



富士通グループむけ全社システム

管理者むけ教育

従業員にむけた教育だけでなく、工場長をはじめとする環境管理部門の幹部社員に対する教育も実施しています。2001年は、新たに幹部社員となった8名に、「環境経営」「グリーン製品の取り組み」「製造工場の取り組み」などを講義しました。

環境講演会

・富士通研究所

富士通研究所では外部講師をむかえて今後の循環型社会のあり方についてお話しいただき、従業員との意見交換などを行いました。



環境講演(富士通研究所)

・富士通テレコミュニケーションズ・ヨーロッパ

環境問題に関する意識の向上と、今後の取り組み向上をめざして、環境講演会を170名の全従業員に対して実施しました。



講演資料(富士通テレコミュニケーションズ・ヨーロッパ)

eco.fujitsu.com/topics/2000/eco20001206.html

啓発活動

環境月間行事

啓発活動の一環として、環境省主唱の6月の環境月間に、多くの行事を富士通グループにて実施しています。

環境講演会

社内・社外講師による環境講演会を実施しました(計36回・1,844名)。FDKでは、グリーン調達とグリーン製品への取り組みについての講演会を実施しました。また、富士通川崎工場においては、同業各社のグリーン製品担当者の方をお招きしてパネルディスカッションを実施。終了後、受講者からは、「各企業の環境担当者や消費者代表の意見が聞けて、非常に有意義だった」「各企業の飾らない、本音の意見が聞けて興味深かった」などの意見がありました。



パネルディスカッション
(富士通川崎工場)



環境講演(FDK)

リサイクル体験ツアー

新しい試みとして、富士通首都圏リサイクルセンターに従業員を案内し、施設を見学してもらうとともに、実際に機器の解体を体験してもらうツアーを実施しました。18名が参加し、熱心にメモをとったり細かな質問をするなど、参加者はリサイクルに対する意識を新たにしていました。

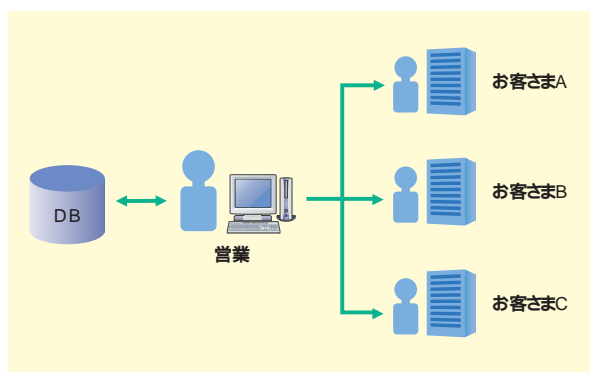


リサイクル体験ツアー(富士通首都圏リサイクルセンター)

お客さま向けメールマガジン

環境に関心の深いグリーンコンシューマーの増加を踏まえ、営業部門ではEメールなどを活用してお客さまへの情報発信を行っています。その際にメールマガジンの「素材」とし

て活用できる環境情報を、営業部門むけのホームページで提供しています。



お客さま向けメールマガジン